

学生を育み、会社を進化させる

インターンシップ 活用ガイド



インターンシップ 活用ガイド

■ インターンシップとは？ ①

■ インターンシップのメリット ②

■ インターンシップ導入の流れ ③

「どう進めればいい？」

〔STEP 1〕 計画を立てる

- (1) 実施する目的を明確にしましょう
- (2) 対象となる学生と、実施期間を決めましょう
- (3) 成功体験が得られる計画を立てましょう

〔STEP 2〕 募集する

- (1) 教育機関が連携している推進団体を活用
- (2) 直接、教育機関へアプローチしましょう
- (3) コーディネート機関を利用しましょう

〔STEP 3〕 準備する

■ 事前準備のポイント ④

- (1) 受け入れ担当と指導担当の役割分担
- (2) 相談役（メンター）の重要性
- (3) 報連相などコミュニケーション方法を定める
- (4) 学生が使用する社内インフラやツールを準備する
- (5) 報酬や交通費の支給ルールを定める
- (6) 学生の安心安全を守るため、保険に加入しておく
- (7) プロジェクト参加時に提出する書類を準備する

■ インターンシップ実施のポイント ⑤

- (1) 初日のオリエンテーションが成果を変える
- (2) 期間中のフォローポイント
- (3) 修了報告会と修了面談

■ インターンシップ導入企業のモデル事例＜鹿児島県内＞ ⑥

南州農場株式会社 株式会社下堂園 株式会社南日本銀行 LR 株式会社
株式会社ブンカ巧芸社 有限会社マルタ建設 株式会社鹿児島環境測定分析センター
鹿児島海陸運送株式会社 社会福祉法人日置福祉会

■ 次年度以降のインターンシップのルールについて ⑦

■ インターンシップ導入企業のモデル事例＜全国＞ ⑧

■ 「移住支援金対象法人」登録のご案内

インターンシップとは？

キャリア教育への支援が 社員を変える、会社を変える

学生が、在学中に就業体験を通して専門的・実践的な知識を身に付ける「インターンシップ」の原型がアメリカで始まったのは、20世紀初頭のことです。1950年代からはアメリカ全土へ普及し、日本でも産学連携によるキャリア教育の環境として、2000年頃から広がり始めました。

インターンシップにもタイプがあり、体験主体の短期間のものから、実践主体の中長期間のものまでさまざまです。また、その内容も、「事業や仕事を理解する」、「一緒に働いて適性を見極め採用につなげる」、「新規事業やプロジェクトのメンバーとして取り組む」など多岐にわたり、学生・企業それぞれに多様なメリットをもたらしています。

企業側の導入のタイミングにも限定はありません。創業期、成長期、変革期それぞれの段階で、インターン学生視点や感性、機動力が組織に刺激を与え、期待以上の成果につながったケースは少なくありません。

採用とは一線を画すスタンスで学生と向き合うインターンシップの機会は、経営者をはじめサポートする社員にとっても新鮮な経験となり、その後の風土醸成に良い影響をもたらしたという声が数多く上がっています。

● インターンシップのタイプ ●

タイプ	テーマ	特 徴	期 間	教育効果	企業のメリット
体験 主体	仕事理解	短期間の職場体験で、レポートやプレゼンテーションで報告する	数日～1・2週間程度	自分の適性や志向を確認し 業界や仕事の理解を深める	業界や自社の 認知度を上げる
	採用直結	採用活動の一環として、一緒に働き企業と学生が互いを見極める			採用マッチング効果
実践 主体	業務補助	アルバイトとは違うスタンスで実際の業務に取り組む	数週間～数カ月など 一定の期間にわたる	社会人の 基礎が身につく	マンパワーの充実
	課題解決	現状の課題に対して解決案を立案し実行して、検証する		社会人の基礎と行動力 や実践力が身につく	新鮮な発想の活用と 社内活性化
	事業参画	実際に企業の新規事業やプロジェクトに参加する		社会人の基礎とリーダー シップや経営の視点が学べる	新規事業や 社内改革の推進

【学】生の成長が会社の成長につながる

導入に成功した企業に共通するのは、目的が明確で、プロジェクトの精度が高い点です。プロジェクトに合った学生を獲得し、適切な指導とフォローで着実に成功体験を積み重ねています。期間限定の正社員という位置づけをし、お客さま扱いせず、真剣に向き合っている点が特徴です。結果として学生が成長し、それが会社の成長につながっています。

【自】社の人材育成力を高めるチャンス

社員やアルバイトと同様、学生を成長軌道に乗せるには最初の指導が重要です。大人として扱い、信じて任せ、小さな成功体験を積み重ねることで自信をつけさせる。より大きな責任と期待を担わせ、壁を越える体験をさせる。企業にとってこのプロセスは人材育成力の向上につながり、特にサポート役の若手社員が大きく成長するきっかけになっています。

【中】小企業こそ高い、導入のメリット

学生は、成長するために多くの経験が積める場所、ビジョンや志に共感できる経営者との出会いを求めています。その点でも、大手企業より組織がコンパクトで、経営者との距離が近い中小企業の方が、学生が活躍できる可能性が高いと言えます。受け入れ態勢さえ万全に整えていれば大丈夫。学生の新鮮さがもたらす変化を、組織の進化につなげて下さい。

【ア】ルバイトではありません

インターンシップは、学生が期間限定で成長につながる就業体験に取り組む機会です。彼らはお金が目的なのではなく、事業や仕事の理解、経営思想やビジョンへの共感を求めて参加しています。だからと言って無報酬の労働力と考え、アルバイトで十分な仕事しかプログラムとして準備できない企業は、インターンシップ導入を再考した方が賢明です。

インターンシップのメリット

学生を理解することで 人材教育力や採用力が向上

インターンシップを導入した企業からは、さまざまなメリットが報告されています。



指導役の社員が 成長しました

学生を導く経験を通して、サポート役の社員、特に若手社員の成長が期待できます。自分の仕事の進め方を振り返り、仕事観を見つめ直す良い機会になるようです。

採用内定率が 向上しました

業界や企業、仕事への理解が進むので、インターンシップに参加した学生からの応募が増えました。内定率や内定数も向上し、ミスマッチも回避できています。

自社の魅力を 再確認できます

インターンシップの準備を通じて、自社の魅力や存在意義を振り返り、業務手順の見直しができます。会社への愛着が増し、モチベーションにつながっています。

新鮮な視点に 刺激を受けます

学生の新鮮な視点や意見に、ハッとさせられることが少なくありません。社員が慣れて見過ごがちな点に、課題が潜在していると気づけるようになりました。

その他

- ・「キャリア教育の支援で社会貢献している会社」として企業イメージが向上しました。
- ・大学との関係性が強くなり、学生からの企業認知度が上がりました。
- ・認知度が上がったことで、より優秀な学生からの応募が増えています。
- ・学生と接する機会が増え、若者の志向や考え方を理解しやすくなりました。
- ・新卒者を受け入れる練習ができるため、採用活動も充実したものになっています。
- ・部署間の連携がスムーズになり、社内の風通しが良くなりました。

一方、こんなデメリットも

目的が明確でないまま導入すると、いたずらに担当者の業務負担が上がるだけです。学生が期待する成果を与えられず、自社にとっての導入メリットも得られないまま、インターンシップが終了してしまう点がデメリットと言えます。



どう進めればいい？

STEP1 計画を立てる

1 実施する目的を明確にしましょう

「採用」だけを前提にしたインターンシップは成功しません。あくまでも「学生がインターンシップを通じて何をえられるか」というキャリア教育的視点が重要であり、自社での経験が学生の今後の人生にとって価値あるものになるよう、実施の目的を明確化しておきましょう。また、その目的を社内で共通認識として共有しておくことがとても大切です。

● 目的例 ●

- 業界や自社のことを知ってもらう
- 若手社員の OJT スキルを上げる
- ホームページや SNS だけでは伝えきれない自社の魅力を知らせる
- 地域や教育機関への社会貢献として取り組む
- 業務改革を進めるため、学生の視点から自社の課題を明確にする
- 教育機関との関係を強化し、学生に対する自社 PR を強化する

2 対象となる学生と実施期間を決めましょう

インターンシップの目的やプログラムに合わせて、対象となる学生を決めます。目的が「自社や業界の PR」や「キャリア教育への社会貢献」等の場合、特に学部・学科を限定する必要はありません。ただし、専門性が必要な場合は、専攻や研究テーマなどを具体的に明示して、学生がインターンシップのイメージを描きやすい情報提供を心がけましょう。

● 絞り込み項目と表記例 ●

対象を 限定しない場合	「すべての学生」 「文理不問、全学部全学科」など
学校の種類を指定	「4 年制大学のみ」 「高等専門学校のみ」など
学年を指定	「3 年生」「2 年生以上」など
学部や学科を指定	「工学部」「機械工学科」 「研究室に在籍」など
資格を指定	「普通自動車免許」 「建築士の資格取得を目指す人」など

実施する時期や期間は、現場の受け入れが可能な時期と、目的に沿ったプログラム内容や必要な日程をすり合わせながら決定します。学生にとってインターンシップは、就職活動に影響されることなく「社会人として働くこと」を体感し、考える機会です。多くの学生が 2 年生や 3 年生時に、夏休みや春休みなど、長期休暇中の参加を希望しています。

3 成功体験が得られる計画を立てましょう

学生の力を存分に発揮させ、自社のメリットに結びつけるには、綿密な準備が不可欠です。学生にどんな役割を担ってもらうのかを設計し、それをサポートする社内体制を十分に検討して計画を立案。プロジェクト設計では「本気で取り組める機会や仕事」、「お客さまとの接点を持つ」、「成功体験のステップ設定」がポイントになります。

● 確認しよう！計画編 ●

- 目的に沿ったプロジェクト設計ができましたか？
- 目的とプロジェクト内容を社内で共有できていますか？
- 詳細な計画を、受け入れ担当部署と共有できていますか？

STEP2 募集する

インターンシップ希望の学生を募集するには、おもに 3 つの方法があります。また、参加希望者が記入する「エントリーシート」などの書類データは、自社ホームページからダウンロードできるよう設定しておきましょう。

1 教育機関が連携している推進団体を活用

「インターンシップ推進協議会」など、地域の教育機関が一体となった推進団体を活用する方法です。「マッチングイベント」などには積極的に参加し、できるだけ上席者自ら、ビジョンや志、インターンシップの目的などを学生に語りかけると良いでしょう。別日に説明会や見学会などを設定し、理解や共感を高めるのも効果的です。

2 直接、教育機関へアプローチしましょう

教育機関のキャリアセンター等へ連絡し、インターンシップの目的と内容を伝え、募集チラシを掲示してもらいます。その際は、募集の意図を簡潔に伝える工夫が重要。また、教育機関側が学生を対象に開催するインターンシップ説明会や出前授業で経営陣が事業やビジョンについて語り、学生の関心を高めるなどの工夫も大切です。

3 コーディネート機関を利用しましょう

地元のインターンシップのコーディネート機関には、上記 (1) (2) を含めて募集企画や集客をサポートしてくれる場合が多いので、ぜひ積極的に利用しましょう。もし、地元になければ、自治体や所属団体にコーディネート機関の設置を働きかけるのも一つです。民間機関の場合、利用料が必要な場合もありますので、事前の確認をおすすめします。

STEP3 準備する

いよいよ学生を受け入れる体制を整える段階です。学生が使用する社内インフラや提出ツールの準備、受け入れに際して必要な取り決めの確認を行いましょう。

いい準備が いいインターンシップをつくる

1 受け入れ担当と指導担当の役割分担

インターンシップでは、受け入れ担当者（人事・総務部門、若手後継者など）と、指導担当者（学生を直接指導する各部署の OJT 担当者）の役割が異なります。前者は、インターンシップのプロジェクトが順調に進むよう全体の進行をサポートする立場。後者は、学生が着実に成功体験を積めるよう工夫しながらプログラムに沿って指導する役割を担っています。

受け入れ担当者と指導担当者が同じ場合、実際に現場で業務経験を積む機会が限定されるため学生の満足が得られません。また、1 人の担当者がプロジェクトを進め、まわりが進捗状況を把握できないことから、インターンシップが全社的取り組みとして理解されず、社内からのサポートを得にくくなります。

2 相談役（メンター）の重要性

プロジェクトが中長期になる場合は、受け入れ担当者、指導担当者とは別に、直接業務に関係しない部署で相談役（メンター）を決めておくのが良いでしょう。プログラムを進行する上で、学生にはさまざまな疑問や悩みが生じがちです。その際に、気軽に相談できる存在が社内にいることは大きな支えになります。業務全体を理解し、コミュニケーション能力に長けた、社歴 5 年以上で 20 代後半～30 代の社員が適任でしょう。

3 報連相などコミュニケーション方法を決める

ビジネスの基本である報連相が円滑にいくよう、学生と指導担当者、受け入れ担当者間のコミュニケーション方法を明確にしておきましょう。朝礼・夕礼、日報・週報、参加するミーティングなどのほか、LINE グループを作って確実に情報を共有するなど、自社に適した方法を設定してください。

4 学生が使用する社内インフラやツールを準備する

短期間のプロジェクトであれば名札や共有の文房具を、中長期のプロジェクトなら机やパソコン、ロッカー、メールアドレス、名札や名刺など、学生が期間中に使うものの準備を整えておきましょう。名刺については、初日に名刺交換などビジネスの基本マナーを教えるよう徹底してください。

5 報酬や交通費の支給ルールを定める

インターンシップはキャリア教育の一環なので、原則として報酬を支払う必要はありませんし、学生も想定はしていません。しかし、プロジェクトが中長期にわたる場合に報酬を支給している企業もあります。交通費に関しても一律支給もしくは規定距離内など、ルールを明確に定めておきましょう。

6 学生の安心安全を守るため、保険に加入しておく

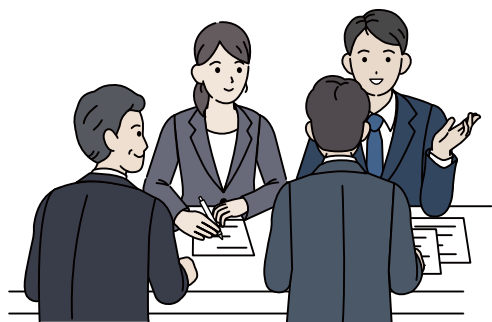
学生に対しても通常雇用と同様、関連法規の順守とリスクマネジメントが必須です。事故やケガ、ミスによるデータ流出や設備や機器の破損などの事案に対して、学生と自社の負担をできる限り軽減するため、学生教育研究災害傷害保険（任意加入）などの保険に加入しましょう。詳細については、学校へお問い合わせください。

7 プロジェクト参加時に提出する書類を準備する

プロジェクト内容を学生が十分に理解した上でインターンシップに参加してもらえるよう、「処遇概要確認書」や「誓約書」等の書類を作成し、記入・提出してもらいましょう。

● 確認しよう！準備編 ●

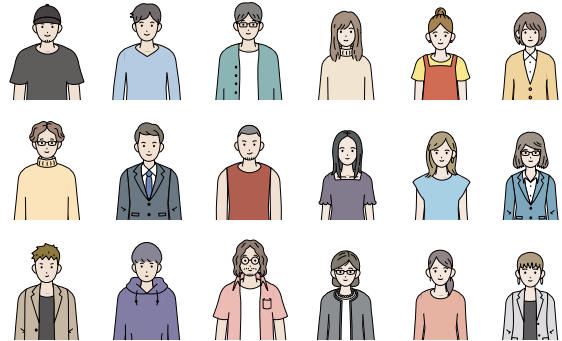
- 学生の担当業務とは関係ない立場の、相談役（メンター）は決まっていますか？
- コミュニケーション方法（朝礼、日報、ミーティングなど）は決まっていますか？
- 机やパソコン、ロッカー、メールアドレス、名札や名刺などの準備はできていますか？
- 報酬や交通費の支給ルールは決まっていますか？
- 不慮の事故やケガ等のリスクを軽減するため、保険に加入しましたか？
- 「処遇概要確認書」や「誓約書」等、提出が必要な書類の準備はできていますか？



学生の成功体験は 企業にとっても同じ経験になる

1 初日のオリエンテーションが成果を変える

インターンが始まる前に、学生と自社の間で、さまざまな事項の確認や情報共有をするために行うのが、オリエンテーションです。オリエンテーションでは、今後の取り組みに関する情報（目的と目標、目標達成までの具体的なステップ、業務スケジュール、社内ルールなど）を共有し、手続き事項の確認、必要事務書類の作成などを行います。



2 期間中のフォローポイント

「壁」を与え、乗り越えさせる「仕掛け」作り

困難や「壁」に直面した学生は、解決策を見出せないままにいるうちにモチベーションが下がり、歩みを止めてしまうことがあります。学生はこの「壁」を自ら乗り越える成功体験によって成長します。その際に、学生の現状を把握した上で、適切なフォロー（乗り越えるための仕掛け）によって状況を修正するのが、指導担当者の役割です。

現状に満足させずに、チャレンジを促す

「壁」に直面することなく、一見スムーズにプログラムを消化している学生は、優秀と言うより「チャレンジしていない」のかもしれませんが、また、少しの成果に満足してしまう学生は、伸びしろが少ないではありませんか。こうした学生が成長するために、チャレンジを促し、背中を押すのも、指導担当者や相談者（メンター）の務めです。

学生が飛躍的な成長を見せた実例

- プロジェクトの立ち上げから完了までを任せられ、中心メンバーとして活躍できた時
- 「壁」に直面してもあきらめることなく、挑戦を続け、状況を突破できた時
- 新規事業の立ち上げで、最初の商談をまとめ、事業をスタートさせた時
- 与えられた枠を越え、事業がめざす方向性に沿って新たな仕事を提案・実践できた時
- メンバーを率いて、チーム目標を達成できた時

このような機会を「仕掛け」として設け、
インターンシップの成功率を上げましょう

3 修了報告会と修了面談

インターンシップが修了したら、「修了報告会」と「修了面談」を行いましょう。できれば「修了報告会」は、期間中お世話になった方々にも参加してもらおうと、多くの視点からのアドバイスやエールが送られ、学生にとっても自社にとってもインターンシップ導入の意義が深まります。

また、活動を文章化した修了報告書や発表資料は、次に続く学生にとって重要な指標であり、自社にとっても若者の声を知ることができる重要な資料と言えます。

● 修了報告会のポイント編 ●

- 多くの人の前で、学生が自分の経験を振り返り、学びを発表する場と位置付ける。
- パワーポイントで発表資料を作成し、規定時間内にプレゼンテーションを完結する力を身に付けさせる。
- 挙手による質疑応答だけでなく、参加者全員にアンケートへの回答を依頼し、学生が的確にインターンシップを振り返ることができる材料にする。

● 修了面談のポイント ●

- 自社から学生に向けて、今回のインターンシップが社内にどんな変化をもたらしたか、きちんとフィードバックする。
- 学生の変化や成長、また今後の課題について伝える。
- 今回の経験を踏まえて、学生が今後どのようなチャレンジをしたいのか尋ね、一緒に期限を決めて新たな目標設定を行う。

肝属郡

業種 農業、林業

設立 2011年3月

資本金 1000万円

従業員数 160名

2-3DAYS

南州農場株式会社

〒893-2503 鹿児島県肝属郡南大隅町根占横別府 2843

会社概要

わずか 20 頭の豚から手探りで始めた養豚業も、着実に規模と実績を拡大し、地元農家や自治体から養牛事業や食肉処理事業などの経営も託されるようになりました。今では、生産・処理・加工・販売の「一貫経営体制」を実現し、グループ総従業員数も 300 名を超えています。「地域と共に考え、共に歩む」という企業理念を軸に、南州黒豚・南州ナチュラルポーク・南州黒牛など高品質なブランド豚・牛を育み、地域の雇用を生み、地域活性化の一端を担う存在へと成長できたこれまでの道のりが、私たちの誇りです。これからも「南州農場」ブランドを全国へ広げ、100 年企業をめざして次なるステージへ進もうとしています。



6 次産業の担い手として

地元で活躍・貢献する場を知る機会を提供したい。

インターンシップ実施（事業申込）の背景

昨年度も、体験（見学）型のインターンシップを実施しています。本州からの参加希望者はとても多かったのですが、鹿児島県内からの参加希望者が少なかったため、地元の活躍の場をもっと多くの方に知ってもらうため、今年度もインターンシップを実施しています。



インターンシップ情報／プログラム

「生産・処理、加工・販売」の業務を体験し、働くことの意義を探究。

1 日目 オリエンテーション（会社説明、スケジュール確認、衛生教育等）、黒豚の美味しさの秘密、商業施設見学、現場実習体験、製造部門「くろぶたの丘」での現場実習、放送など軽微な作業体験

2 日目 午前／衛生教育後に高山ミートセンター見学、※希望者のみ／と畜・食肉処理場見学

午後／各パートで現場実習、※希望者のみ／と畜（解体・カット・出荷）体験、食品安全の取り組み講義（FSSC22000、ISO22000）

3 日目 午前／豚生産農場の見学（車にて場内を見学）

午後／牛舎（鹿児島黒牛繁殖牛）の見学、南州エコプロジェクト、国産飼料生産の講義 ※3 日間とも、最寄りの公共交通機関から本社、農場等への移動の際は、送迎あり

【インターンシップ期間】2 日間または 3 日間

【募集職種】限定しません 【募集人員】約 10 名

【求める人物像とスキル】◎農業、鹿児島に興味がある。食の安心安全な仕組みが知りたい。◎精肉のカット処理やハムやソーセージ製造など職人の技を見たい。

◎食に関するさまざまな仕事について学びたい。

成果、改善点、今後の取組

参加してくれた学生は畜産業界に関心のある方で、インターンシップにも興味を持って取り組んでくれました。また、県外に在住の学生だけではなく、鹿児島県内の学生募集にも力を入れたいと考えており、今回は今回実施した Web 広告のノウハウなども活用していきたいと思っています。

総務部
納土 浩典



事務局の声

参加数 **2 名** ※参加予定者含む
2022年12月5日現在

参加した学生からは、六次産業の業務を実体験できるという点に興味を持って参加したところ、インターンシップを通して働くことについて自分の視野が大きく広がったとの声がありました。

6月

7月

8月

9月

10月

11月

プログラム作成

学生募集／実施（随時）

広報

ターゲット 鹿児島県・宮崎県・熊本県在住の大学生

配信期間 2022年10月3日～28日

使用媒体 Google 広告、Yahoo! 広告、Facebook 広告 (Instagram 含む)

広告



広告予算 16.5 万円
(広告運用費は除く)

表示回数 19 万 1,093 回

クリック数 982 回 ※詳細情報への遷移数

応募数 1 名

詳細情報

詳細情報を作成する際のポイント

詳細な内容が決まっていなくても、学生がこのインターンシップに参加することのメリット、企業側の受け入れ姿勢（意気込みなど）を記載することが重要です。

広報での取組概要

運用に当たっては、検索連動型広告（ユーザーの検索したキーワードに沿って、検索画面の上部や下部に表示されるもの）と Facebook 広告（Instagram 含む）で配信をスタートし、運用の実績を踏まえ途中からは検索連動型広告は Google 広告のみに絞りしています。その結果一つの媒体にかけられる予算が増額したため、応募確度の高い層にアプローチすることができました。また、1 カ月間の広告運用を終え、Facebook 広告は 18 万回以上の表示回数となり認知向上につながったほか、Google 検索広告のクリック率も平均値以上であり、多くの方が興味を持ってインターンシップ内容を見ていただいたと思います。



ジョブアスインターンシップトップ

南州農場株式会社



南州農場株式会社

事業内容：畜産業、食肉処理業、食品加工・販売業と生産から販売まで6次産業化を実現する南州農場グループです。新たに国産飼料生産にも取り組み循環型農業の実現を目指します。

場所：鹿児島県南大隅町・鹿児島県鹿野市などの農場にて実施。ご相談の上決定いたします。

最終エントリー締切：随時

- ※コロナ対策実施中
- ※宿泊完備
- ※交通費補助
- ※短期（1週間以内）
- ※Web打ち合わせ

受け入れ可能期間						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	

新たに国産飼料化に着手！インターンシップでは、生産・処理・加工・販売部門ほか、南州農場グループの事業を通じて地域の課題を解決するお仕事を体験しませんか？

年間出荷頭数約10万頭！種付け～販売まで一貫体制の「黒豚」＆最高級ブランド「黒牛」の一連の現場を体験できます！6次化にも力を入れており、大手百貨店など全国へ展開中です。インターンシップでは、直営レストランで実際に味わっていただくことも♪未経験OK！畜産に興味のある方、大歓迎です。

エントリー情報

参加条件

特になし。生産部門以外にも幅広く事業を展開する企業型の畜産を体験してみませんか？

応募後の流れ

インターンシップの申込をいただいた2～3営業日後までに、こちらからメールまたは電話でご連絡します。

インターンシッププログラム詳細

全て体験！6次産業コース

- インターン実施期間 掲載期間中、土日、祝日を除く3日間
- エントリー締切 特になし（期間満了まで随時募集）
- 募集人数 約10名

【1日目】

〈移動・集合：送迎あり〉

・オリエンテーション：会社説明、スケジュール確認、衛生教育等

- ・黒豚の美味しさの秘密
- ・商業施設見学、現場実習体験
- ・くろふたの丘（製造部門）現場実習体験：軽微な作業（包装作業など）

【2日目】

〈送迎あり〉

AM 衛生教育後、高山ミートセンター施設見学：と畜場（希望者のみ）・食肉処理場

PM 現場実習体験（各パート毎）：と畜（希望者のみ）・内臓・カット・出荷

食品安全への取組み：FSSC22000、ISO22000について

【3日目】

〈車で農場まで移動〉

AM 豚生産農場見学（車に乗りし場内を見学し説明）
牛舎見学：鹿児島黒牛繁殖牛

PM 南州エコプロジェクト 国産飼料生産への取組など
※終了後、最寄りの公共交通機関まで送迎

鹿児島市

業種 製造・卸・小売業、飲食事業

設立 1962年2月1日

資本金 2300万円

従業員数 72名(役員含む)

45DAYS

株式会社下堂園

〒891-0123 鹿児島県鹿児島市卸本町 5-18

会社概要

温暖な気候と肥沃な大地で生産された逸品・鹿児島茶を、世界各地へ届けることを目的に事業を展開しています。静岡原産の茶葉「ゆたかみどり」を独自に改良し、鹿児島茶の国内市場を開拓したことに始まり、世界一規制が厳しいと言われるドイツの残留農薬規制をクリアするため「有機栽培茶」の生産に成功してEUオーガニック認証を取得。また自社農園「ビオ・ファーム」にて有機栽培茶生産に着手し、オリジナル緑茶ブランドをドイツへ展開。さらに、自社農園で栽培したハーブや生姜、紅茶などで次々に新商品を開発するなど、常に道を切り拓き、挑戦を続ける下堂園イズムが根づいています。



「千利の道も一歩から」。経営資源であるヒト・モノ・カネを活用したプランを自ら考え、実行するインターンシップ。

インターンシップ実施(事業申込)の背景

5年前まで大卒採用をしていましたが、現在は製造職の高卒採用がメイン。しかし、学生の希望があれば、新部署での採用も検討します。過去には延べ100名程度の45日間インターンシップを実施。様々なテーマでフィールドワークを行ってもらいました。2週間に1度の割合で「働く意味と価値について」「自分が純粋に望む生き方」をテーマに研修会を開き、最終日には成果をプレゼンテーションする機会を設けていました。この業界は修行の道とも言え、お茶のこと、業界のことを基礎から学ぶ必要があります。鹿児島から世界へ。大きなビジョンが描ける仕事だと思います。



インターンシップ情報／プログラム

インターンコンセプトは「千利の道も一歩から」。
2023年2～3月に『鹿児島茶を全国に広げるためのWeb・SNSマーケティング』という実務型インターンシップ(45日間)を開催予定です。これに先立ち、2022年11～12月に実施するインターンシップでは「下堂園のインターンシップ情報を学生にいかにして届けるか」というテーマで、立案した計画を実施してもらいます。経営資源であるヒト・モノ・カネを活用した計画を立案し、社員と同様「稟議書(物品購入や契約等の承認を得るために提出する書類)」も作成。稟議が下りたら、計画実行に着手します。学生が自ら考え、まわりを巻き込みながらプロジェクトを進める体験ができます。また必要であれば、合理的判断のもと会社からのバックアップも得られます。社員同様のレベルで業務を体験できる、超実践型のインターンシッププログラムです。
【インターンシップ期間】45日間
【募集職種】限定していません
【募集人員】1～5名
【求める人物像とスキル】◎文理不問 ◎コミュニケーション能力、傾聴力、チャレンジ精神、想像力、問題分析力

成果、改善点、今後の取組

Web 広告を見て応募した学生に加え、求人情報経由で応募した県外学生の2名で、インターンシップを開始。12月上旬にキックオフを実施し、約2週間が経過しており、本インターンシップの醍醐味である「挫折という貴重な体験」を学生は感じ始めているのかもしれない。

経営推進室
河野 慎太郎



事務局の声

参加数 2名 ※2022年12月5日現在

実家がお茶関係の事業をしている学生がWeb 広告を通じてインターンシップに興味を持ち、初めてのインターンシップとして応募しています。ぜひこの機会を通して、様々な気づきを得てほしいと思います。

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

プログラム作成／学生募集

実施中

広報

ターゲット 鹿児島県・宮崎県・熊本県在住の大学生

配信期間 2022年10月3日～28日

使用媒体 Google 広告、Yahoo! 広告、Facebook 広告（Instagram 含む）

広告



広告予算 16.5万円
(広告運用費は除く)

表示回数 14万9,371回

クリック数 961回 ※詳細情報への遷移数

申込数 1名

広報での取組概要

運用に当たっては、検索連動型広告（ユーザーの検索したキーワードに沿って、検索画面の上部や下部に表示されるもの）とFacebook 広告（Instagram 含む）で配信をスタートし、運用の実績を踏まえ途中からは検索連動型広告は若年層のユーザーが多いGoogle 広告のみ、Facebook 広告は鹿児島県・宮崎県・熊本県に配信を絞り、より対象となる層に向けてアプローチをしました。また、13万回以上表示されたFacebook 広告で周知、Google 検索広告で応募に至るユーザー導線が形成でき、その結果、検索広告経由で学生からの応募を確保できたと思っています。

詳細情報

詳細情報を作成する際のポイント

詳細な内容が決まっていなくても、学生がこのインターンシップに参加することのメリット、企業側の受け入れ姿勢（意気込みなど）を記載することが重要です。



鹿児島県インターンシッププログラム支援事業

【試練？成長？インターンシップ！】秋冬インターンシップを活用しよう！

主催：鹿児島県 商工労働水産部 産業人材確保・移住促進課

【当社のインターンシップにおけるスタンス】

当社のインターンシップにおけるスタンスは、極めてシンプルです。それは「可能性を信じたい」ということ。そして「仕事とは何か？」を体感してほしいということ。オリエンテーションでインターンシップの課題説明やルール説明をしたら、ゴールにどう向かうかは、みなさんに委ねます。メンター役の取締役は選考報告・連絡・相談をしますが、それ以外で手取り足取り教えたり、情報提供をすることはありません。

決して、いじわるをするためのインターンシップではありません。社会人になれば、多くの壁が訪れます。その壁を学生時代に味わうことは、貴重な貴重な体験だと私たちは考えています。過去のインターンシップでは、途中で行き詰り思考停止したり、途中で諦めて離脱する人もいました。このインターンシップを通じて、「挫折」や「成功体験」を味わいながら「仕事とは何か？」を体感・痛感してほしいのです。そしてインターンを終えたころには、「私はやればできる」という経験と自分の可能性という武器を持ち帰ってほしいと思っています。

秋冬インターンシップを活用しよう！



ワインではありませんよ。世界に誇る「下室園」のお茶です。

「挫折」や「成功体験」を味わいながら「仕事とは何か？」を体感・痛感するインターンシップ

【インターンシップ内容】

2023年2～3月に「鹿児島茶を全国に広めるためのweb・SNSマーケティング」という実務型インターンシップ（45日間）を開催予定です。その前段階の今回11～12月に実施するインターンシップは、ここに参加する学生さんにこの情報をどう届けるのか？ということを考え・実践してもらおうと考えています。「下室園のインターンシップを誰に、どのように伝え、どうやって参加してもらうか」、これが課題です。

詳細は、初日のオリエンテーションの際にお伝えしますが、弊社のヒト・モノ・カネも当社の社員同様に「業務費」（※物品購入や契約などの承認を得るために作成する書類）を作成してOKが出れば使用することができます。既存社員を巻き込む場合は、どのように説得すればいいのか？を自ら考えて巻き込むことも可能です。プロジェクトを完遂するためであれば、合理的な判断のもと、会社のバックアップを得ることができます。社員同様の業務を社員以上にやってもらう超実務型です。



鹿児島市

業種 金融業、保険業

設立 1913年9月4日

資本金 133億5100万円

従業員数 882名

1 DAY

株式会社南日本銀行

〒892-8611 鹿児島県鹿児島市山下町1-1

会社概要

当行は1913年(大正2年)設立以来、「相互扶助」の創業の精神及び経営理念のもと、地域の皆さまとともに歩んできました。鹿児島県を中心に64カ店を展開し、2023年9月には110周年を迎えます。現在はファイナンス支援だけでなく、当行独自のWIN-WIN ネット業務(新販路開拓支援業務)による本業支援やデジタル支援を含む経営改善・事業再生支援の提供に積極的に取り組んでいます。また、銀行で働く行職員が働きがいや、やりがいをもって日々の業務に携われるよう働き方改革(時間外勤務の抑制、女性活躍推進、育児休業を含む福利厚生・制度面の充実や整備等)にも注力しています。



今の取り組みの延長や改善で よりよいインターンシップを実施したい。

インターンシップ実施(事業申込)の背景

インターンシップ・仕事体験はこれまでも積極的に取り組んで参りましたが、長期化するコロナ禍で学生の皆さんとの接点拡大や双方向のコミュニケーションを図りたい、と思い申し込みしました。私たちがインターンシップ・仕事体験やセミナー等でお会いする学生は、「地元就職」や「Uターン就職」を希望し「鹿児島の発展に貢献したい」という熱い想いを持っている方が多いことから、銀行の仕事そのものに魅力を感じてもらえるようなプログラムに加え、地域に根ざす“なんぎん”をより深く知っていただくためにプログラム内容を工夫しながら取り組んでいます。

インターンシップ情報／プログラム

リアル開催とWEB開催を併用しています。WEB開催でも銀行業務が体験できることに加え、画面越しでも“なんぎん”の雰囲気を感じていただけるよう対応する行員の人数や年齢層を幅広くするなど工夫しています。参加者からは「WEB上でも十分に“なんぎん”の雰囲気を感じることができた」との評価を得ています。

【インターンシップカリキュラム】

※WEB開催は、一部カリキュラムを実施していません
業務体験(融資業務、金融商品提案)、銀行の役割、なんぎんの取組・仕事、金融リテラシー講座、マナー講座、先輩行員との座談会他

【インターンシップ期間】

1 Dayを4日程(リアル開催2回、WEB開催2回)

【募集職種】職種区分なし(銀行業務全般を体験いただきます)

【募集人員】60名程度

【求める人物像とスキル】

- ◎自分で考え、それを行動に移すことができる人
- ◎お客さまのニーズに応えることや自分の成長のための努力を惜しまない人
- ◎幅広い視野を持ち、まわりに気配りができる人

成果、改善点、今後の取組

これまでのリアル・WEB開催において、銀行の中核業務である融資業務体験を通じ、融資は「単に資金を貸し出すこと」ではないと感じていただけたようです。今後も、銀行業務や当行の雰囲気が参加者に伝わるように工夫していきたいと思えます。

人事総務部
人事総務企画グループ
櫻井 かおり



事務局の声

参加数 **49名** ※2022年12月5日現在

対面とオンラインのインターンシップを実施される中で、参加者からはオンラインでも実業務に沿ったワークがあり、業務のイメージが持てたとの声や、丸一日あったので充実していたとの声がありました。

6月

7月

8月

9月

10月

プログラム作成

学生募集

実施

日置市

業種 インターネット関連事業

設立 2016年8月31日

2DAYS

LR株式会社

〒899-2504 鹿児島県日置市伊集院町郡 1343-1

資本金 1000万円

従業員数 110名

会社概要

『誰もが次世代に誇れる社会を目指して』を経営理念に、地方再生事業に関する Web サービスのサポート事業を手がけ、地方から日本を活性化する取り組みを進めています。自治体向けの、ふるさと納税関連サイトの制作および運営・受発注サポート、民間事業者への説明会や勉強会実施。また、民間事業者向けの Web ページ制作と運営サポート。さらに、自社店舗「じもと百貨」を運営してオリジナル商品の開発も行っています。社名のLRは、Local Revitalization[地方活性化]の頭文字。つまり「地方を盛り上げる!」という私たちの意思の表れ。私たちと一緒に地方再生に取り組み、未来に誇れる日本を創造しましょう。



自社文化のDNAを継承し続けることこそが、
地域の活性化に必ず繋がっていくと信じています。

インターンシップ実施(事業申込)の背景

2023年3月卒業者より新卒採用を開始しました。内定者は2022年6月時点で7名(鹿児島県内6名、宮崎県内1名)、うち承諾者5名(鹿児島県内5名)です。現在、自社文化のDNA継承や社員平均年齢の若返りを図っています。2024年以降も新卒採用を継続したいので、その基盤づくりとしてインターンシップに挑戦し、地域活性化に対する学生の関心を喚起しながら、ITを駆使した地域活性化事業で若い力を生かす機会を創出したいと考えています。リモートにも対応可能な勤務スタイルなので、比較的自由に業務に取り組める点が特徴と言えます。



インターンシップ情報/プログラム

「地方活性化って何する事?」をテーマに
ふるさと納税に関する Web デザインや、データ分析業務を体験。

〔インターンシップ期間〕2日間

〔募集職種〕地方創生 Web デザイナー、データサイエンティスト

〔募集人員〕3~5名

〔求める人物像とスキル〕

◎文理不問

◎コミュニケーション能力、傾聴力、想像力、デザインをするのが好きな人

成果、改善点、今後の取組

インターンシップを実施するのは初めてで、当初は学生のために内容を充実させなければならぬと考え、身構えていた部分もありましたが、実際にやってみると肩の力も抜け、やって良かったと思っています。

人事部
橋野 伸

事務局の声

参加数 1名 ※2022年12月5日現在

平均年齢の若さに驚くと共に鹿児島県のベンチャー企業として地方活性化に貢献している点に興味を持ち、インターンシップに応募される学生があり、関心度が高い様子が印象的でした。

6月

7月

8月

9月

プログラム作成

学生募集

実施

鹿児島市

業種 製造業

設立 1958年5月31日

資本金 3000万円

従業員数 70名

2DAYS

株式会社ブンカ巧芸社

〒899-2701 鹿児島県鹿児島市石谷町 3655

会社概要

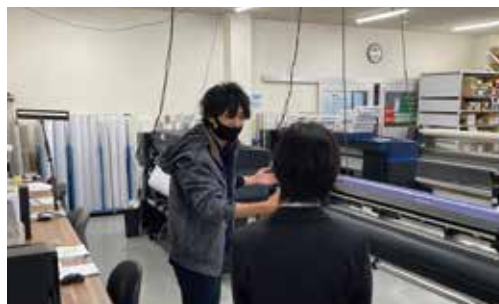
創業 69 年の実績を誇り、鹿児島を中心に九州全域で各種看板の企画・製作・施工・メンテナンス、また店舗内外装の企画・製作・施工を行っています。『お客さまの商売繁盛に寄与する』ことを理念の柱に据え、打ち合わせ・現地調査から、デザイン・看板製作、さらに取り付け設置・アフターフォローまでの一貫したサービスで、他社の追随を許さない実績と信頼を築いてきました。スピーディーな一貫体制はもちろん、部署を越えた横断的メンバーで進める委員会活動、ITの積極活用によるDX推進、絶えず働きやすさを追求する制度整備などによって育まれた「ブンカ魂」が、100年企業に向けた改革と進化を生み出しています。



学生さんが街で見ている風景の中に 私たちの仕事があることを知ってもらう機会になれば。

インターンシップ実施（事業申込）の背景

アミュプラザやライカ、センテラスなど、多くの方がご存知の商業施設の看板を製作していますが、私たちが作っていることは知られていません。会社を知ってもらい、看板製作という仕事に関心を抱いてもらいたいと願っています。新卒者には、営業、デザイナー、施工管理を任せます。業務は部署ごとに完全分業制ですが、1年目社員はいろいろな部署の仕事を経験。営業は、お客さまのご希望のヒアリングを含めた打ち合わせや見積もり作成。デザイナーは、看板のデザインや図面作成。施工管理は、スムーズで安全な施工の段取りと実施を行います。



成果、改善点、今後の取組

今回は事務局からの提案も踏まえ1日目に学生に看板に関する課題を与え、1週間後に課題発表してもらうという初めてのプログラムで実施しました。参加した学生も積極的に取り組んでおり、充実したインターンシップにできたのではないかと思います。

総務部
五反 涼雅



インターンシップ情報／プログラム

「ブンカ巧芸社を身近に感じてもらう」をテーマに、身近にある看板のデザインや作成プロセスを学びます。

1日目 業界の説明（市場の規模や現状、業界の意義など）、会社の紹介（沿革、業界におけるポジショニング、事業ビジョンなど）

2日目 各自テーマに合った看板を、実際に1時間程度街に出て見つけてくる。例えば、テーマが「私が選ぶ最高の看板」なら最高と思う理由を、あるいは「素敵な店なのにもの足りない看板」がテーマなら改善点を、参加者同士で意見交換する。

また、先輩社員が実際に手がけた事例についてエピソードを交えながら発表。それについてディスカッションをする。

【インターンシップ期間】2日間

【募集職種】営業、デザイナー、施工管理

【募集人員】1～5名

【求める人物像とスキル】

◎文理不問

◎コミュニケーション能力、傾聴力、危機管理能力

事務局の声

参加数 **1名** ※2022年12月5日現在

参加した学生からは、社員の方が気さくに接してくれ、多くの事を話すことができたこともあり、インターンシップを通しての満足度や企業への関心度が高まったとの声がありました。

6月	7月	8月	9月	10月	11月
プログラム作成		学生募集			実施

鹿屋市

業種 建設業

創立 1989年8月1日

資本金 2000万円

従業員数 12名

2DAYS

有限会社マルタ建設

893-0067 鹿児島県鹿屋市大浦町 14062-4

会社概要

創業から 51 年。鹿屋・大隅エリアの地場ビルダーとして、一般住宅の設計施工、リフォーム、外構工事、解体工事、土木工事を行っています。住む人・建物・地球の「3つの健康」をモットーに、建物全体を高性能な断熱材で包み込んだ、気密性が高く、耐久性の高い住宅を提案。外気温に左右されず、温暖化防止にも貢献できる暮らしを実現するため、これまでに培った技術と知見を存分に生かしています。家づくりやリフォームのご相談から引き渡し、その後に始まるメンテナンスまで、お客さまの生涯を通じて「家守り」としておつきあいするというスタンスは、私たちの誇りであります。



「住人十色」がテーマの、 「誰と働くのか？」を知る 2day プログラムです。

インターンシップ実施（事業申込）の背景

これまで中途採用がメインで新卒採用の実績はありません。今後、事業を拡大する上でさらなる組織強化が不可欠なので、1 から丁寧に育成するために新卒採用をスタート。併せて、インターンシップも募集します。新卒者の募集職種は、住宅営業と木造建築の大工、施工管理者の予定です。少数精鋭の社員は一人ひとりのプロ意識が高く、インターンシップを通じて仕事人としてはもちろん、人間力を学べる機会も多いと思います。



インターンシップ情報／プログラム

「住人十色」がテーマの、「誰と働くのか？」を知る 2day プログラム。2 日間にわたって先輩社員と机を並べ、現場視察や商談・打ち合わせ同行、ランチタイムの会話などを通じて先輩の人となりを知り、会社の雰囲気を肌で感じながら「誰とどんなふうに働くのか」実感するプログラムです。

【インターンシップ内容】

マルタ建設の会社概要説明

現場視察

商談同行

協力会社さんとの打ち合わせ同行

【インターンシップ期間】2 日間

【募集職種】営業

【募集人員】3～5 名

【求める人物像とスキル】

◎文理不問

◎コミュニケーション能力、危機管理能力、責任感、相手の立場になって考えられる方

成果、改善点、今後の取組

インターンシップのコンセプトを「住人十色」として、マルタ建設をまるわかりできるプログラムを作成しました。事務局からの提案により Web 広告の運用などを通して学生の募集を行っていますが、思うように集まらず、現在は民間求人サイトを活用した募集を実施しています。

経理事務
田島 諭

事務局の声

参加数 募集中 ※2022年12月5日現在

Web 広告でも 5,000 件以上のクリックを得ており、検討された学生さんも多くいらっしゃったかと思います。冬季はインターンシップが高まる時期になりますので、今後も全力でサポートを行って参ります。

6月

7月

8月

9月

10月

11月

プログラム作成

学生募集

鹿児島市

業 種 学術研究、専門・技術サービス業

設 立 1978年12月

資本金 1000万円

従業員数 41名

3DAYS

株式会社鹿児島環境測定分析センター

〒891-0131 鹿児島県鹿児島市谷山港2-5-11

会社概要

県内の工場や行政自治体の依頼を受け、大気・水・土壌・騒音・悪臭など人の暮らしを取り巻く、あらゆる環境や衛生の実態を的確に調査・分析し、改善につながるサービスを提供する技術企業です。世界中で CO2 排出による地球温暖化や生物多様性の減少など地球規模の環境変化が注視されている中、有害物質の流出やアスベスト建材の問題、細菌やウイルスによる感染症の広がりなど、私たちの調査分析技術と科学的知見が求められる機会が増え続けています。こうした現状において、社会的、経済的なさまざまな課題に向けた解決案を提示することで、持続可能な環境社会の創出に貢献することが、私たちの追求する使命です。



SDGs の実現に向けて、何ができるのか？ その具体策を体感する第一歩として利用していただきたい。

インターンシップ実施（事業申込）の背景

これまでは中途採用がメインでしたが、次世代につながる組織構築に本格的に着手するため、新卒採用を開始予定です。まずは私たちの事業を知っていただき、その社会的意義や将来性などを実感していただく機会として、インターンシップを受け入れます。新卒社員には、顧客先での測定業務をお任せします。高度な専門知識を駆使し、現場でしか見えてこない問題点を見つけて解決策を提案する重要な役目です。入社後も技術の向上と知識の習得に努める自己研鑽が必要ですが、SDGs の実現に向けてあらゆる分野の礎となる、意義深い事業です。



インターンシップ情報／プログラム

「化学技術で「環境や安全を守る。」をテーマに、環境測定分析の現場を体験。

水質・排ガス・土壌・騒音振動・臭気・DXN 等の環境調査測定業務と報告書の作成

1日目 会社説明、社内見学、顧客先への同行、測定業務の体験

2日目 測定試料の検査業務体験

3日目 測定試料の分析結果のまとめを体験、
インターンシップの総括とフィードバック

【インターンシップ期間】3日間

【募集職種】技術営業

【募集人員】約3名

【求める人物像とスキル】

◎理系大学、大学院修士（理工系）※県内の大学が理想だが、UIターンも OK

◎鹿児島大学工学部先進工学科化学工業プログラム／化学生命工学プログラム等

◎顧客先で現場を見ながら、お客さまとコミュニケーションを取り、測定実務や課題解決の提案ができる人

成果、改善点、今後の取組

学生は当社の業務内容に関心を持って応募してくれた印象を受けました。事前に社内には学生に実務を手伝ってもらおうと伝えましたが、特に反対の声もありませんでした。また、インターンシップを通して、学生が欲していることや学生を集めることの大変さが分かったのは収穫でした。

代表取締役社長
東 正樹



事務局の声

参加数 **2名** ※2022年12月5日現在

体験しなかった業務を実際に経験できたことに加え、時給をお支払いいただけことに参加学生から驚きとともに感謝の声がありました。また、インターンシップを通しての志望度も高まったとのことでした。

6月

7月

8月

9月

10月

プログラム作成

学生募集

実施

鹿児島市

業種 運輸業

設立 1945年2月2日

資本金 1億円

従業員数 178名

4DAYS

鹿児島海陸運送株式会社

〒892-0823 鹿児島県鹿児島市住吉町 13-1 ハーバーフロントビル

会社概要

創業は1945年。鹿児島を拠点に、日本全国さらに世界へつながる陸・海・空すべての運輸に携わってきました。これまで法人向け事業を中心に通関事業、文書輸送、コンテナ物流管理、産業廃棄物の収集運搬、新幹線のレール輸送など、実績と信頼がなければ担えない専門的な業務を手がけ、総合運輸企業として歴史を重ねてきましたが、今後は運ぶ物品を拡大し、ご家庭のお引越の一般貨物から製品の原材料や精密機械まで幅広く、人と人をつなぎ、あらゆる産業を支える役目を強化して参ります。財務省認定のAEO事業者として、また物流のプロフェッショナル企業として、さらなる事業発展に社員一丸となって取り組みます。

※(AEO)セキュリティ管理とコンプライアンス体制が整備された



日常生活の中からでは見えない 変革する物流業界のリアルを知ってほしい。

インターンシップ実施(事業申込)の背景

積極的に新卒採用、またインターンシップの受け入れを行っています。新卒者には総合職として、主に現場管理(現場を見ながら売り上げや利益を管理し、お客さまとの接点を持ち、作業員への指示やトラックなどの貨物の手配も行う)を担ってまいります。物流は今後ますます拡大する業界であり、業務プロセスにはDXなど新たな領域も確実に増えています。変革する物流業界の現場を体感することで、学生の皆さんに「成長産業で働く醍醐味」の一端を感じて欲しいと思っています。



インターンシップ情報／プログラム

鹿児島海陸運送株式会社に興味を持ってもらうことを目的に、海陸トランスポートセンターの見学を中心としたインターンシッププログラムです。

- 1日目 本社の業務体験
- 2・3日目 海陸トランスポートセンター見学
- 4日目 本社で業務体験とインターンシップのフィードバック。

〔インターンシップ期間〕4日間

〔募集職種〕総合職

〔募集人員〕3～5名

〔求める人物像とスキル〕

◎文理不問(商学部、経済学部等。また、工学部などの論理的思考力や計画力も歓迎)

※業務管理能力、コミュニケーション能力、営業力、業務遂行能力を養います。

成果、改善点、今後の取組

8月と9月に学生を受け入れましたが、学生が真面目にインターンシップに取り組んでいる姿を見て受け入れて良かったと思います。今回実施した内容と事務局からのアドバイスを踏まえて今後もより良いインターンシップにできるよう改善ができればと考えています。

総務部 課長代理
米満 広幸

事務局の声

参加数 2名 ※2022年12月5日現在

参加した学生の1名は、運輸業が全ての業界を支えているという観点から興味を持ち応募。複数の日程で実際の業務を肌で感じるというインターンシップならではの経験ができたのではと思っています。

6月

7月

8月

9月

プログラム作成

学生募集／実施

日置市

業 種 医療、福祉

設 立 2000 年 6 月

資本金 —

従業員数 42 名

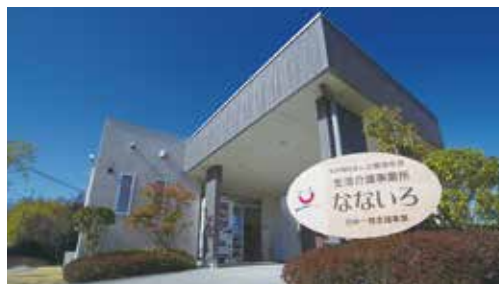
4DAYS

社会福祉法人日置福祉会

〒899-3101 鹿児島県日置市日吉町日置 197

会社概要

地域社会における障害福祉の充実を目的として、長年にわたり地元に着目した運営を続けてきました。障害のある方々がそれぞれの能力に合わせて働くことができる場所、活動できる場所、生活する場所を提供しています。2023年度より地域交流・活性化拠点「ひよし吉日」を新たにスタートさせ、地域におけるダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）の実現に向けて、常に進化と挑戦を続けています。



「福祉」としてではなく、
枠にとらわれないプログラムを目指して。

インターンシップ実施（事業申込）の背景

学生の皆さんが障害のある方と接する機会は、ご家族や友人など身近な人がいなければ極めて少ないと思います。そのために、実際に接してイメージを持ってもらう機会が必要です。その上で新規事業である「ひよし吉日」で、実際に行う企画に参加者の皆さんに考えてもらい、私たちの事業についてより理解度を深めていただきたいと思います。



インターンシップ情報／プログラム

「施設利用者と地域住民との交流を増やすには？」をテーマに実施。

1日目 前半／法人の説明と障害福祉サービスに関する講義
後半／買い物支援の体験

2日目～ 地域交流・活性化拠点「ひよし吉日」で開催するイベント企画

4日目 企画内容の発表とフィードバック

〔インターンシップ期間〕4日間

〔募集職種〕支援員、地域交流・活性化拠点スタッフ

〔募集人員〕1～5名

〔求める人物像とスキル〕

- ◎文理不問、福祉系学科以外も歓迎します。
- ◎支援員／コミュニケーション能力、傾聴力、人権や尊厳を重んじる人
- ◎地域交流活性化拠点スタッフ／企画力、行動力、チャレンジ精神、臨機応変な対応が出来る人

成果、改善点、今後の取組

本来は夏季にインターンシップの実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けインターンシップの実施を延期したため、お申し込みのあった学生の参加ができませんでした。現在は民間求人サイトを活用した学生への周知・募集を行っています。

生活介護事業所なないろ 主任
徳盛 友太郎



事務局の声

参加数 **募集中** ※2022年12月5日現在

4日間と1DAYのプログラムを準備。現在は民間求人サイトを活用して興味がありそうな学生をターゲットにメッセージを継続的に送っており、事務局と協働してインターンシップ実施を目指しています。

6月

7月

8月

9月

10月

11月

プログラム作成

学生募集（新型コロナウイルスの影響で募集停止の時期あり）

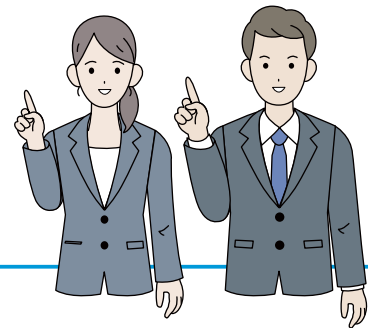
令和5年度から大学生等の インターンシップの取扱いが変わります

令和4年6月、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」(3省合意)の改正により、大学生等のキャリア形成支援に係る取組を4つに類型化するとともに、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、広報活動や採用選考活動に使用できるよう見直されました。

また、教育機関や民間ナビサイトごとに取扱いが異なる場合がございます。令和5年度以降、作成されたプログラムが下記のどの4類型に当たるのか、インターンシップとなるのかについては、各関係機関や民間ナビサイト運営企業にお問い合わせください。

なお、今後のインターンシップ制度に関する改正にもご留意ください。

この改正は、令和7年3月に卒業・修了する学生(学部生ならば令和5年度に学部3年生に進学する学生)が、令和5年度に参加するインターンシップから適用されます。



● 学生のキャリア形成支援に係る取組の4類型 ●

タイプ1 オープン・カンパニー

タイプ2 キャリア教育

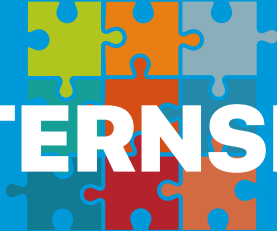
タイプ3 汎用型能力・専門活用型インターンシップ

タイプ4 高度専門型インターンシップ(試行)

「インターンシップ」とは称さない就業体験を必須とせず、「個社・業界の情報提供」や「教育」が目的

「インターンシップ」と称して実施就業体験が必須。「自身の能力の見極め」や「評価材料の取得」が目的

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会・報告書を基に記載



INTERNSHIP

全国の事例を紹介します

インターンシップ

体験主体

業種

海運・物流業

2
DAYS

マルチタスクの仕事の魅力を、ビジネスゲームで体感する

海運、物流・倉庫、陸運（貨物・バス・タクシー）、空輸など、人々の暮らしに欠かせない物流全般に関する事業を展開。先輩社員の生の声を聞き、自分が働く姿をイメージする。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職〔募集人員〕各回5～10名

1日目 〔ビジネスゲーム〕

- 物流業の中でもイメージしづらい、海運の仕事を体感できるビジネスゲームに挑戦。
- チームで協力し、安全で戦略的な船の運航を通して、顧客の難しい要望をクリアする。
- 一人ひとりの意思決定が結果を左右する、海運の魅力を味わう。

2日目 〔パネルディスカッション、座談会〕

- 先輩社員が登壇し、仕事やプライベートについて詳しく説明。

体験主体

業種

金融業

2
DAYS

窓口業務の見学・営業同行・札勘など店舗業務を体感する2日間

地域に根ざした金融機関。営業同行で実際に顧客先へ訪問して顧客の声を聞き、地域経済を支える社会的意義と醍醐味を知る。模擬紙幣を使い、実務的な札勘も体験する。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職〔募集人員〕20名

1日目 〔導入、座学〕

- オリエンテーションで、実際の仕事内容やワークライフバランスなどをスライドで説明。
- 本社の各フロアを見学。取扱商品など事業内容についてスライドや資料で解説。

2日目 〔現場体験、発表〕

- 営業店業務を体験。窓口業務の見学、先輩との営業同行、模擬紙幣による札勘など。
- インターンシップを振り返り、学んだこと、感じたことを発表する。

体験主体

業種

福祉・介護、教育

2
DAYS

障害者が作った商品をビジネスに変える、スタディツアー

一般企業に負けない商品づくりの追求で、オリジナル商品を開発。福祉施設でものづくりに取り組む障害者の収入拡大をめざす、自立支援ビジネスをグループワークで体験。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職〔募集人員〕16名

※2日間ともWEB開催。

1日目 〔導入、企画立案〕

- 1 チーム4-5名に分かれ、ディスカッションを通じてグループワークに取り組む。
- 既存商品の販売増をめざす、広報戦略企画立案ワーク。
- 障害者の経済的自立をめざす、新商品開発企画立案ワーク、など。

2日目 〔企画立案、発表〕

- 前日に引き続きグループワークを進め、プレゼンテーションに臨む。
- プレゼンテーションをもとに最優秀チームを決定し、表彰。

体験主体

業種

農林水産業、食品業

2
DAYS

酪農体験とSNS発信が学べるインターンシップ

貴重な酪農体験をもとに、牛の世話をするやりがいや楽しさ、大自然に囲まれて働く魅力など牧場で働くリアルをSNSで発信する。広報担当としての参加者の発信力に期待。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職〔募集人員〕5名未満

※JR・飛行機の場合は送迎あり（上限枠内で交通費支給）。宿泊は新築の社員寮を用意。

1日目 〔導入、実務体験〕

- 施設見学、哺育舎で仔牛にミルクやり、エサやり、搾乳作業の手伝いなどを体験。
- 先輩社員との食事会。

2日目 〔グループワーク、発表〕

- グループワーク。前日に撮影した写真や体験内容を使って、SNS発信に挑戦。
- グループワークの内容を発表し、フィードバック。
- 先輩社員へのインタビュー。

体験主体

業種

化学・エネルギー

2
DAYS

日本の製造業を支える、産業エネルギーの社会的意義を知る

製造業に不可欠な産業エネルギーの現在と未来を、先輩社員と接しながら進める就業体験や、経営ゲームを通して体感できる実践型プログラム。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職（技術系・事務系）〔募集人員〕20～30名

【①事業所プラントエンジニアリング】〔理系学生向け、学部不問〕

1日目 ●産業ガス製造工場、プラント制作工場の見学。

2日目 ●プロセス計算、仕様書作成、図面確認、電圧・電流計算、系統制御設計等を体験。

【②研究所】〔理系学生向け、学部不問〕

1日目 ●研究所の各技術紹介、実験棟の見学。

2日目 ●座学および実習体験（凍結保存、低温・加工・吸着・分離・燃焼技術など）。

体験主体

業種

製薬業

2
DAYS

創薬研究の第一線に触れる、研究職のインターンシップ

創薬研究・製剤開発において非常に重要な、特許情報の調査と利用。自社プロジェクトへの応用や、新規プロジェクト立ち上げ時の利用などに役立つ特許関連業務が体感できる。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕研究開発職〔募集人員〕5名未満

※2日間ともWEB開催

1日目〔導入、座学〕

- 会社概要の説明。
- オープンソースを使って、特許調査の方法と競合他社の特許の見方を学ぶ。

2日目〔調査、レポートの作成と発表〕

- WEB上で、例題をもとに実際に調査を行い、結果をレポートにまとめて発表。それをもとに、特許出願戦略について若手研究員とディスカッション。

体験主体

業種

商社
(食材・食品)

2
DAYS

青果市場の現場を知り、青果流通のマーケティングを理解する

営業職（セリ人）の仕事を見学し、実際に値付けを体験することで、青果物の市場流通の仕組みを知る。青果物のニーズや価格動向をもとに、流通マーケティングを理解する。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕営業職〔募集人員〕5～10名

※1日目はWEB開催。1日目参加者のみ、2日目の実地開催をご案内。

※2日目は、参加者に交通費を支給。

1日目〔導入〕

- 市場の特徴を知り、理解する。

2日目〔見学、ワークショップ〕

- 市場内を見学し、セリの迫力を体験。
- 実際に商品に値段をつけながら、商品価格の決定プロセスを理解。
- 青果物のニーズを分析し、どのような価格で顧客に届けるか市場流通を理解する。

体験主体

業種

小売業
(ホームセンター)

3
DAYS

依頼者の心理を読み解くユニークなワークに挑戦する

「ある依頼」に応えるワークを通じて、参加者の多様なスキルを発揮する。宣伝広報、経営企画、企画・商品開発、接客販売、店長（店舗運営）など将来活躍できるステージは多彩。

インターンシップ情報／プログラム 〔募集職種〕総合職〔募集人員〕各回5名～10名

【インターン説明会】〔WEB開催、導入〕

- 会社の未来、仕事内容、キャリアビジョンの紹介、先輩社員へのインタビューなど。

【3days インターン】〔実地開催、ワークショップ〕

- 3日間かけて「ある依頼」に応えるワーク。「なぜこの依頼が舞い込んだのか？」という視点から想像力・洞察力・コミュニケーション力を発揮し、協力しながらミッションを遂行する。

体験主体

業 種

建設業

5
DAYS

現場の仕事を体験し「働く」ことの意味や学生との違いを知る

実際に建設現場の仕事を体験し、現場で働いている人の生の声を聞くことで、建設業への理解を深める。社会人として働く意味や学生との違いを知る、実践型プログラム。

インターンシップ情報／プログラム 【募集職種】施工管理者【募集人員】5～10名

※交通費（県内参加者のみ全額支給）、宿泊費（県外からの参加者へ指定宿泊先で一部支給）。

1日目【導入、実務体験】

- 会社説明、現場に行く前の心構えを学ぶ。
- 定例会議に参加。関係者との全体の動きや流れのすり合わせ実務を体験。

2～4日目【終日、現場体験】

- 朝礼後、現場の仕事を体験。書類作成など事務的業務を含めて、働くリアルを実感する。

5日目【振り返り、座談会】

- 現場体験や学び、今後への活用、疑問点など振り返りを行う。
- 入社1～5年目の先輩社員との座談会。終了後、お疲れさまの食事会。

体験主体

業 種

製造業
(工具メーカー)

5
DAYS

WEBと対面・現場体験を織り交ぜた、密度の濃いプログラム

ものづくりに欠かせない、製造工具の製造やメンテナンスを手がける技術企業。グループワークや先輩インタビュー、業務体験を通して、事業の社会的意義と技術力の高さを体感する。

インターンシップ情報／プログラム 【募集職種】製造職【募集人員】各回2名ずつ

1・2・5日目【WEB開催】

※他社のインターンシップに参加している学生と合同で開催。自宅からの参加も可能。

- 1日目／自己分析グループワークを通して、主観的・客観的に自分の強みを整理。
- 2日目／「顧客価値」や「競争優位性」など企業分析ワークを通して会社を理解する。
- 5日目／5日間のインターンシップで得た気づきを個別に発表。

3・4日目【対面実施】

- 3日目／本社にて社内を見学し、実際に製造現場で業務を体験。
- 4日目／先輩社員へのインタビュー、先輩の仕事の補助業務を体験。

実践主体

業 種

製造業
(電子・電気関連機器)

1
MONTH

社員と同じ仕事を体験する、実践的な長期報酬型インターンシップ

実務体験を通して、基礎的アプリケーションスキル、技術調査スキル、実装に向けたプログラミングスキル、論理的思考力など、社会人として有用なあらゆるスキルを身に付ける。

インターンシップ情報／プログラム 【募集職種】エンジニア【募集人員】5～10名

※約1カ月間、週2日勤務（計8日間）。1日4時間・計32時間以上勤務。給与支給。

※事前選考とインターンシップ説明会あり。

- 技術部の一員として、実際に開発業務に取り組む。

例／社内システムの開発、技術リサーチとレポート提出、開発プロジェクトでIoT製品のプログラミング、社内ミーティングへの参加、各部署との打ち合わせやヒアリングなど。

- インターン生でチームを組み、課題に取り組む。

例／次年度インターン応募人数を増やす施策を立案、全社で臨む組織開発プロジェクトの立案。

- 社長や先輩社員との面談。社長から経営者の視点を学ぶ。

「移住支援金対象法人」登録のご案内

Uターン人材を求める企業・法人のみなさんを応援します！

移住支援金対象法人になるメリット

1

**対象求人に応募・採用されたUターン者に
最大100万円^{※2}が支給されます。**

東京圏からUターン者を採用した場合、就職した方に移住支援金^{※1}が支給されるので**求職者へのアピール**になります。

※1. 東京23区（在住または通勤）から鹿児島県へ移住し、移住支援対象法人登録企業に就業成立した場合、
就業者に対して支援金が支給されます。

（一定の条件を満たし、移住支援事業を実施する移住先の市町村に申請した場合に支給）

※2. 子育て世帯にはさらに加算あり

2

**東京圏からの移住者を採用するための
経費の一部を助成します。**

就職説明会や募集・採用パンフレットの作成等、その移住者の採用活動に要した経費の額に応じて当該企業に**最大100万円の助成金**が支給されます。

お問い合わせ先：鹿児島労働局、鹿児島県内に所在する最寄りのハローワーク

3

無料で求人広告が大手民間求人サイトに掲載されます。

かごJobに掲載された求人広告が
通常有料掲載の大手民間求人サイトにも**無料で掲載されます。**

4

魅力的な求人広告作成のためのセミナーを受講できます。

Uターン希望者に対して、魅力的な求人広告となるよう求人プロのセミナーを受講いただき、より**魅力的・効果的な求人広告**にしていだけます。



移住支援金に関するお問い合わせ

鹿児島県 商工労働水産部 産業人材確保・移住促進課

TEL:099-286-3026

E-mail:sokusin@pref.kagoshima.lg.jp